

オオサカハイマック通信

VOL.10 (2018年10月)

トピックス

大阪重粒子線センターの重粒子線治療装置(HIMAK)が、9月25日(火)に厚生労働省の薬事承認を取得しました。

現在、放射線物理部では10月16日からの重粒子線治療開始に向けて、生物実験、治療計画装置の線量分布の検証測定、ならびに呼吸同期照射の検証調整を行っています。

大阪重粒子線センターでは、10月16日より、自費治療を開始します。
なお、保険治療は12月1日から、先進医療は2019年1月1日からの予定です。
(2018年9月末で約110名の前立腺がん治療(保険治療)の仮予約がありました。)

対象となるがんの詳細や診療予約方法等についてはホームページにてご案内しております。

【HPアドレス】<https://www.osaka-himak.or.jp/>

【プロトコルについて】https://www.osaka-himak.or.jp/whats/superiority/?id=superiority_02

(※人体イラスト横の各ボタンを押下してください。)

【診療予約について】<https://www.osaka-himak.or.jp/concern/?id=concern03>

市民公開講座

去る9月16日(日)、大阪市中心公会堂(大阪市北区中之島1-1-27)にて、市民公開講座「切らずに治った、がん重粒子線治療ー最先端治療の現場からー」を開催致しました。当日は約750名と大勢の皆様にお越しいただきました。

プログラムは放射線医学総合研究所病院長の鎌田正先生の基調講演、国立大学法人東京医科歯科大学血液内科の医師であり、かつ重粒子線治療体験者である坂下千瑞子先生による治療体験談、大阪国際がんセンター副院長の東山聖彦先生のがん専門医の立場からの講演、落語家の月亭八方様のトークショー、質疑応答で構成され、約2時間30分と長時間にも関わらず、参加者の皆様は熱心に聞き入っていました。

参加者の皆様からは「重粒子線治療の体験談が聞けて、ためになりました。」等のご感想をいただきました。



講演

9/11(火) 第81回成人病公開講座
「がんに対する血管内治療と放射線治療」
演題「重粒子線治療とは？」
演者：溝江純悦センター長(医師)
場所：大阪国際がんセンター



9/14(金) 近接する国家公務員共済組合連合会大手前病院にて、センター長の溝江純悦が大阪重粒子線センターの紹介を行いました。



9/26(水) 隣接する大阪国際がんセンターの「大阪重粒子線センターによる治療開始に関する院内周知会」にて、センター長の溝江純悦が大阪重粒子線センターで行う治療について説明を行いました。



9/29(土) 第77回日本癌学会学術集会 ランチョンセミナー
演題「重粒子線治療の現状と将来展望」
座長：江口英利(大阪大学大学院医学系研究科 外科学講座 消化器外科学准教授)
演者：小川和彦(大阪大学大学院医学系研究科 放射線総合医学講座 放射線治療学教室教授)
場所：リーガロイヤルホテル

— 寄附のお願い —

大阪国際がん治療財団では、広く寄附を募っています。
当財団へ寄附いただいた方には、特定公益増進法人に対する寄附として税制上の優遇措置があります。
詳しくは当財団までお問い合わせください。

— お問い合わせ —

発行元：公益財団法人 大阪国際がん治療財団 大阪重粒子線センター
電話：06-6947-3210 ファックス：06-6947-3211
住所：〒540-0008 大阪府大阪市中央区大手前 3-1-10
HP アドレス：<https://www.osaka-himak.or.jp/>

大阪重粒子線センターや治療についての詳細はホームページをご覧ください。

<https://www.osaka-himak.or.jp/>

